

東京お茶の水ロータリークラブ



2023-24年度 RI 会長 ゴードン R. マッキナリー
世界に希望を生み出そう
 第 2580 地区ガバナー 栃木 一夫
 ロータリアンの心に火をつけよう

魅力あるクラブにするために
 行動しよう

2023-24年度 クラブ会長 牛島 聡

本日の卓話

就任の挨拶

海江田 健司会長・中野 広行幹事

司会進行
 点鐘
 我らの生業
 ニコニコボックス報告
 会長報告
 幹事報告
 副幹事報告
 出席報告

神保 宏充会員
 牛島 聡会長
 渡辺 和久会員
 神保 宏充会員
 牛島 聡会長
 藤本 豊大幹事
 中野 広行副幹事
 神保 宏充会員

挨拶 小池 正会員

平成 30 年自宅で転びまして、大腿骨骨折その後腰椎圧迫骨折になり、しばらくご無沙汰しています。病院も息子 2 人に任せまして私は引退し、長らく院長を務めましたが、もう全部息子たちに任せています。今日は体調もよくなりましたので久しぶりにお邪魔しました。皆さん、気を使っていたいてありがとうございます。



誕生日祝い

6 月 27 日 小池 正会員



ニコニコボックス

牛島会長 皆様、一年間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

藤本幹事 1 年間ありがとうございました。

土居会員 牛島年度の皆さんお疲れ様でした。本日は小池先生よくお出で下さいました。明日は誕生日ですネ、おめでとうございます。

神保会員 牛島会長、藤本幹事 1 年間大変お世話になりました。ありがとうございます。

海江田会員 牛島会長、藤本幹事 1 年間おつかれ様でした。来期もご指導よろしくお願いたします。

木宮会員 牛島会長、藤本幹事 1 年間大変お疲れ様でした。

松島会員 ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。役の皆様ご苦労さまでした。

永井会員 牛島会長、藤本幹事お疲れさまでした。

中野会員 牛島会長、藤本幹事一年間ありがとうございました。

大原会員 牛島会長、藤本幹事 1 年間ご苦労様でした。

佐々木会員 執行部の皆様 1 年間御苦労様でした。

角田会員 牛島会長、藤本幹事 1 年間おつかれ様でした。

山田会員 牛島会長、藤本幹事おつかれ様でした。

計 69,000 円 累計 716,500 円

会長報告 牛島 聡会長

今年度の寄付金およびニコニコボックスの報告です。

- ・ロータリー希望の風奨学金 71,774 円
- ・親子はねやすめ 77,047 円
- ・月 1 回断食金 102,283 円
- ・ニコニコボックス 716,500 円

幹事報告 藤本 豊大幹事

・月 1 回断食基金へのご協力ありがとうございます。

<地区関係行事>

今週 6/28(金)地区納めの会に、牛島会長、土居会員、西村会員、木宮会員、山下会員と、私が出席いたします。

副幹事報告 中野 広行副幹事

・次週 7 月 3 日は、東京ドームホテルで開催いたします。11:30 より理事役員会を開催いたしますので関係者の方はお集まりください。

・委員会任命書を配布しております。ご確認をよろしくお願いいたします。

出席報告

会員数	39 名	ゲスト	0 名
出席	20 名	ビジター	0 名
ZOOM	1 名	合計	21 名

今後の予定

7/10 (水) (於)東京ドームホテル
 「食でつながる社会」
 一般社団法人日本麺文化協会代表理事・
 料理研究家 大瀬 由生子様

7/17 (水) 休会

7/24 (水) (於)ブックハウスカフェ
 クラブフォーラム

退任の挨拶

牛島 聡会長・藤本 豊大幹事

牛島 聡会長

会員の皆様一年間大変お世話になりました。何とか今年度の最終例会を迎えることが出来たのも、皆様のご協力とご支援があったおかげと、心より感謝いたします。



クラブにとって今年度は二つの大きな乗り越えなくてはならないことがございました。1つは創立30周年記念式典の開催。もう1つは事務局の引継ぎでした。

1つ目の創立30周年の周年事業を無事に終えることが大きな課題でしたが、高山実行委員長には微に入り細に入りご手配を頂き、そして皆様のクラブをあげたご協力により無事執り行うことが出来ました。ここであらためて皆様に御礼を申し上げます。

2つ目の須永さんから伊東さんへの事務局の引継ぎですが、皆様も実感されていますように大変うまくいっています。伊東さん引き続きよろしく願いいたします。

今年度はクラブテーマを「魅力あるクラブにするために行動しよう」でした。年度初めの会長挨拶で、創立30年を節目として次の10年に向けて具体的の方針を示し、それを実行する年度としましよと申し上げました。

主な事業は前年度の木宮パスト会長が実践された奉仕事業の継続と新たなクラブ戦略の構築でした。継続事業の神田カレーグランプリ会場や神田岩本町ファミリーバザール会場でのエンドポリオのパネル設置と会員がクラブ襷をかけてアピールした公共イメージ向上活動の実施、複数年で実施しているウォーキングクリーンプロジェクトなどは実施出来ました。海外での奉仕はタイ米山学会とのタイアップでタイのコンケン県バーンノントラングノンパイガム小学校の支援でしたが、こちらは木宮パスト会長のご尽力に頼りっぱなしでした。

新たなクラブ戦略の構築については手を付けた段階で具体的に着手できませんでした。先日のクラブフォーラムでようやく今後の進め方が見えてきた程度で、私の実行力不足が招いたことと大変悔やんでおります。

西村パスト会長年度、木宮パスト会長年度と2年続けて特徴のあるクラブ運営をされてきましたが、2回目の会長職ということもあり少し安全運転のクラブ運営になってしまった感があります。自ら掲げたテーマなのに魅力あるクラブにするために行動できただろうか、1年を振り返ると反省ばかりです。

しかし、後悔だけではございません。まずは素晴らしい奉仕の精神を持たれた日根野会員を迎えることが出来ましたし、長年の友人でもある豊岡会員も迎えることが出来ました。会員間の親睦活動も出来たのではないかと実感しております。金沢親睦旅行も角田親睦委員長とスーパーサポートをいただいた西村さん、岡田さんのおかげで大変有意義な親睦となりました。

また、今年度は他クラブとの合同例会も実施いたしました。他クラブの方々や例会の仕方など自クラブだけでは経験のできない出会いがありました。

会員増強の件ですが、年度スタート時の会員数38名を40名越えにと目標を定めておりましたが、結局は1名減の37名であります。創立よりクラブへの多大な貢献をしていただいたチャーターメンバーである八木会員、傳会員、長年にわたり会計をお勤めいただいた戸部会員の退会は痛恨の極みであります。皆様のご協力で会員増強もでき、何とか40名で終われそうだと思っておりましたので、クラブにとっても私にとっても大変厳しい結果となりました。しかし、次年度は既に2名の増強がみこめておりますので、皆様の増強へのご協力のたまものであります。本日はチャーターメンバーの小池先生にご出席いただいております。小池先生ありがとうございます。感謝申し上げます。

私は、リアルな例会はやはり毎週が望ましいと思っております。新入会員が早くクラブになじんでいただくにも、ニコニコの年度総額を多くするためにも、そして活気あるクラブにするためにも必要だと感じております。仕事が忙しい会員でも毎週例会が有ればどこかで出席することができます。会費を上げずに、今のクオリティを維持しつつ毎週の例会をリアルで実施するには、やはり会員の数が重要です。私の試算では50名が理想です。私が入会したころ紀尾井町RCの会員数はお茶の水と同じくらいだったと思いますが、現在は80名を超えています。神田RCは帝国ホテルでの例会を維持するために猛烈な会員増強をされました。2つのクラブに増強のヒントがあると思います。紀尾井町さんは仕事上で出会った、もしくは関わっている方に積極的勧誘しました。会員の出入りは激しいようですが目標を100名に設定して着実に近づいています。会員の半数近くが女性会員であるのも特徴です。神田さんは新会長の出身校の慶応つながりへの積極的な(執拗な?)誘いや、地元つながりの掘り起こしが成功されています。各クラブにはそれぞれの風土がありますので単純にまねをしてもうまくはいかないと思いますが、検証しお茶の水にあったやり方を探してこれからの10年で50名を目指しましょう。

最後になりますが、今年度クラブ運営を理事役員、各委員長として支えていただきました

海江田 会長エレクト、
中野 副幹事、
大原 会員増強・退会防止委員長、
相倉 職業奉仕委員長、
木宮 奉仕プロジェクト委員長、
佐々木 ロータリー財団委員長、
山下 出席・SAA 委員長、
渡辺 プログラム委員長、
角田 親睦活動委員長、
笠原 雑誌会報・広報・ロータリー情報委員長、
岡田 社会奉仕委員長
木村 国際奉仕委員長
神保 青少年奉仕委員長
永井 米山委員長、

1年間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。事務局の伊東さん、なれないロータリー独特の業務や業務時間外の私へのLINEや会員達の対応にご苦労されたことと思います。ありがとうございます。東京ドームホテルの皆様 福島魚を使っていたきたいとか無理なお願いにご対応いただきまして感謝申し上げます。

そしてこの方を忘れてはいけません。
最も不得意と思われるオンラインのセッティングに毎週
大汗を流し、私の精神的支えとなり共に一年間走って
いただいた藤本 幹事、本当に、本当にありがとうございました。

皆様、6月30日をもちまして私と藤本幹事は、次年度
の海江田会長、中野幹事にバトンを渡します。次年度
も一層のご協力のほどお願いいたします。
一年間お世話になりました。

藤本 豊大幹事

今期の幹事を務めさせていただきました
ました藤本です。

正直申しあげて、幹事という重職
に就任することなど、数年前まで考
えてもいませんでした。入会して14
年程になるものの、例会への出席は酷い時は年に数回な
んてこともあり、何年間かは休会もしていました。牛島
会長から幹事就任のお声がけをいただいたのは、2年程
前にたまたま参加しました長野旅行の宴会でした。その
席で、牛島会長から不意打ちで、背後から「藤本さん！
幹事！」と大きな声をかけられ、「はい？」と後ろを振り
返ったのが、就任承諾の意思表示となりました。

RCの幹事の役割は、詳細はともかく、会長を支え、
クラブ運営の要として、よりきめ細やかな気配りをもつ
て会員やゲストの方々等に諸々の貢献することにあると
イメージしていますが、通信簿をつけるとすれば、赤点
ギリギリではないかとは思いますが、曲がりなりにも途中
退任することなく任期満了を迎えることができ、赤点を
免れたのは、皆様に諸々のサポートをしていただいたお
かげであり、本当に感謝しております。

終えてみれば、本当にあっという間の1年だったな、
というのが正気な感想でして、ではこの1年何をしていた
のかと言えば、恥ずかしながら、例会にほぼ毎回出席
することと、会員や卓話者のためにパソコンの操作をす
ることのほぼ繰り返しでした。とは言っても、私からす
れば、例会にほぼ毎回出席するなんてことも以前はなか
ったことですし、裏方としてパソコンの操作をするとい
うことも、ほぼ初めてのことでした。

例会に毎回出席することで、自分では知り会ったり、
お話を聞くことがまずできない多くの素晴らしいゲスト
の方の卓話をお聞きすることができました。
後楽 RC との合同例会で台湾と日本との交流について卓
話いただきました張淑玲さんは、情報量・内容ともに素
晴らしかったのは勿論のこと、とにかく人間力というか
オーラに引き込まれてしまいました。親子はねやすめ代
表理事の宮地浩太様の卓話は、同団体の活動に素晴らしい
社会的意義があることが分かり、かつ宮地様が目を輝
かせてお話する姿は非常に感動的で尊敬できるもので
した。杏雲堂病院の古川一美様におかれましては、認知症
の基本的知識をあれほど詳細かつ分かりやすく情報提供
いただいたことは私の知る限りありませんでした。手前
味噌ですが、日本スーパーカー協会の須山泰宏さんには、
幹事になったことをきっかけに、10 数年ぶりに卓話の
お声がけをし、分かりやすく楽しい卓話をしていただき
ました。これも幹事になったからこそ、このような形で
旧友と再会が出来、感謝しております。
中央分区分千代田 6 クラブの合同例会も毎回出席し、各ク
ラブの創造的かつ社会的意義のある奉仕活動を共有でき
ました。東京 RC の筑紫会長が合同例会で、1つ1つの



奉仕活動は、範囲が限定されていたりするものですが、
奉仕活動をすれば、それはとてつもなく大きな、社会全
体に影響する奉仕活動になる、というお話を2度ほど
されていたのが印象的で、RCにおける奉仕の意義とい
うものを再認識しました。

以上のとおり、毎回例会に出席するというだけでも、
改めて整理すると、これだけの成果を得ることができま
した。これも皆様のサポートのお陰です。改めて御礼申
しあげて、退任のご挨拶とさせていただきます。ありが
うございました。



牛島会長、藤本幹事、ありがとうございました！

第1371回 2024年6月21日(金) 東京神田 RC・東京お茶の水 RC 合同例会

(於) 東京大神宮マツヤサロン 4F 「五十鈴の間」

出席報告

東京神田 RC	東京お茶の水 RC
会員数 71 名	会員数 39 名
出席 46 名	出席 24 名
欠席 25 名	欠席 15 名
ゲスト 1 名	
合計 47 名	合計 24 名

会長報告 東京神田 RC・新 健一会長

2019 年以来、コロナ以前依頼の 5 年ぶりの合同例会
であります。よろしく願いいたします。来週は年度の
最終例会になります。

会長報告 東京お茶の水 RC・牛島 聡会長

来週をもちまして今年度は終了です。東京神田 RC と
の合同例会は、先ほど新会長からもありましたが、コ
ロナ以降久々の開催になります。1 年間本当に我々、お茶
の水含めて神田さんにはお世話になりました。ありが
うございました。来年度の会長は、海江田次年度会長で
す。来年もひとつよろしく願いいたします。



エンジョイベースボールとスポーツ新時代

香川オリーブガイナース球団代表 上田 誠 様

世界一、使い回しができない職業、教員をやってきました。慶應高校で監督を、留学を挟んで大学でヘッドコーチをやりました。今、子どもの野球人口が減っています。この十年で、神奈川県では2000チームが500チームに、社会人野球も全国200チームが50チームになってしまいました。西武ライオンズにいた石毛さんが四国に作った日本初の独立リーグ「アイランドリーグ」を手伝っています。教え子が、地方と野球を結び付けおうと起業し、「伝説を作ろう」と香川で奮闘しており、私も一緒に営業しています。

スポーツを取り巻く環境が大きく変わりました。YouTubeを見て「ダルビッシュはこう言ってます」と人の話を聞きません。判定は画像で可視化・数値化しないと信用されない時代になりました。eスポーツに見られる多様化、そして、AIとスポーツが身近なものになるのも、もうすぐです。

「エンジョイベースボール」の慶應高校が甲子園で優勝しましたが、慶應は亜流。主流は野球道の中での修行のような野球です。江戸時代後半、日本に野球が入ってきました。大正時代には師範学校から全国に広がり、全国大会が年に12回も開かれるなど人気が過熱。武士道ともリンクしてしまっただけで修練や精神主義などが生まれたのではないかと思います。それでも昭和初期の野球は自由で髪の毛も普通、のんびりとして上下関係も緩く、欧米のスポーツを満喫していたようです。軍隊式の野球が導入されたのは戦後です。仕事が無かった戦地からの復員軍人が大学のスポーツ指導を始めたことで、絶対服従や行進・上下関係・自己犠牲といった軍隊の考え方や倫理がスポーツ界に落とし込まれたのです。昭和初期、慶應OBで日系人二世の腰元寿氏は慶應の監督時代に「エンジョイベースボール」を提唱。それを広めた故前田祐吉監督の口癖は「スポーツ界の常識はおかしくないか」でした。

私たち昭和の指導者も常識をぶち壊そうとしています。実は昔の方が自由だったということが結構あります。最近「パワハラ」「カスハラ」数々あります。「ハラハラ」はハラハドキドキではなく「ハラスメントハラスメント」のこと。ハラスメントの訴えに病んでしまうのです。野球にもコンプライアンスとインテグリティが求められています。中でもパワハラには敏感です。厳しい指導が愛という時代がありましたが今は許されません。一方、言葉の暴力が増えて陰湿になっています。大事なコミュニケーション、黙っている選手にも意見があります。

子どもが野球から離れています。中学は少子化の4.5倍で減少、高校野球は毎年1万人ずつ減っています。スポーツ障害も問題です。トーナメントばかりで、みんな故障しています。教員の過労死も問題です。平日は部活動を指導してもいいけど、休日は地域に任せなさいという話です。とって、他校と合同チームを作ろうとしても地方は隣の中学まで50kmなんてこともあるので出来

ません。野球が一部の子どものためのスポーツになってしまうのではないかと懸念されます。

日本の野球界は団体が乱立してバラバラなので振興が苦手です。それに比べてサッカーはシンプルでJFAハウスに行くだけで全部用事が足りてしまいます。他競技は地域貢献活動を凄くやっていて、10チームだったJリーグは50チームになったし、出来たばかりのBリーグも全国にチームが増えました。野球も地方にプロ野球を作る動きがありますが、60億円の委託金や12球団のオーナーによる全会一致が必要など厳しい現実があります。

最後に、後継者育成について。野球部で上手く指導者が引き継いだのを見たことがありません。長くやっていた監督がいきなりポンと変わるものの、OBを通じて圧力をかける、といった風土が日本のスポーツ界にあると思います。個人的な意見ですが、いきなり交代が一番駄目。並走期間は重要ですが、後継者が歳を取ってしまうのでなるべく早く譲った方が良いでしょう。そして、譲ったら口は出さない。相談に乗って下さいと言われていたら出るくらいです。

新時代に入りました。ハラスメントの規制が多く、ICTの進歩に人間関係の構築が難しい。子どもが丁寧に育てられているので、今の若い子と一緒に仕事するのは難しい。人材はすぐ辞めてしまい国際化・中途採用も当たり前。世界中の情報が簡単に手に入るという大変な時代になってきました。私はというと「巨人の星」です。昭和の根性を教える人間がいても良いのではないかなと思う次第です。

